

News Release

「主体的キャリア形成マッチング」 ガイドブックリリースのお知らせ

転職満足・活躍実感を高める鍵は「主体的キャリア形成マッチング」—JHRが最新調査をもとにガイドブックを発行
一般社団法人人材サービス産業協議会(東京都港区、理事長:岩下順二郎、略称「JHR」)は、転職後の満足度や活躍実感にキャリア形成意欲がどのような影響を及ぼすかを明らかにする調査を実施し、その結果をもとに、人材サービス企業向けに転職者支援のあり方を示した「主体的キャリア形成マッチングのススメ」ガイドブックを発行いたしました。

「主体的キャリア形成マッチング」ガイドブックのポイント

●約半数が「主体的キャリア形成意欲あり」、そのうちの多くが転職満足・活躍実感

本調査では、全国の転職経験者1,000名超を対象に、「主体的キャリア形成意欲」と「キャリアイメージの明確さ」によって4タイプに分類。そのうち49.7%が「主体的キャリア形成意欲が高い」グループに該当しました。これらのグループは、入社後の満足度(54.0%)や活躍実感(46.2%)が、意欲の低い層に比べて顕著に高い結果となりました。一方で、意欲の低い層(Cタイプ)では、転職回数が5回以上にのぼる割合が約3割に達するなど、「納得感ある転職」に至らない実態も浮き彫りになりました。これは、キャリアの目的や将来像を持たないまま転職を繰り返すことで、結果として満足度や活躍実感の低下につながっている可能性を示唆しています。

●「従業員の主体的キャリア形成の支援」に関する情報開示がカギ

調査では、「主体的キャリア形成を支援してくれる会社かどうか」は、主体的キャリア形成意欲の高い求職者にとって重視される要素である一方、その情報が十分に得られたと回答したのはわずか6.4%にとどまりました。企業からの情報開示の不足が、ミスマッチや満足度の低下を招く一因となっていることが明らかになりました。

また、「自分のキャリアイメージを実現できる環境か」「自分にどんなキャリアの可能性があるか」「ともにキャリアを考え支援してくれる会社か」などを判断する情報は、転職希望者にとって極めて重要な判断軸となっていることが分かりました。

●転職後の満足・活躍に向け、人材サービスが果たすべき役割とは

本ガイドブックでは、求職者が自身のキャリアを主体的に選択できるような情報提供を行い、企業と求職者の「選び選ばれる関係」を支援する「主体的キャリア形成マッチング」の概念を提唱しています。

人材サービス事業者に求められるのは、以下の3点です

1. 求職者への働きかけ

転職理由や希望を引き出し、キャリアイメージの形成や具体的な行動計画への落とし込みを支援する。

2. 企業への働きかけ

キャリアパス、職場環境、育成制度など、キャリア形成に資する情報の開示を企業に促し、求人情報の質を高める。

3. タイプに応じたマッチングの高度化

求職者のキャリア意識や希望に応じた情報設計と求人提案により、納得感のある転職と企業の採用成功を実現する。

●9月にJHR勉強会、10月以降にワークショップを開催予定

JHRでは、今回のガイドブック発行を皮切りに、業界全体で「主体的キャリア形成マッチング」の推進を行ってまいります。9月には会員企業向けにオンライン形式の勉強会を開催し、10月以降にはワーキンググループによるワークショップを開始いたします。

※「主体的キャリア形成マッチング」ガイドブックは、こちらからどなたでも無料でダウンロードいただけます。

<https://j-hr.or.jp/free-support-tools/34647/>

■一般社団法人人材サービス産業協議会(JHR)について

当協議会は、国内の人材サービス関連業界団体5団体の横断・連携機関です。職業紹介、人材派遣、業務請負、求人広告などビジネスモデルの枠を超えて、雇用構造の変化や労働市場の新たな要請に対応し、労・使・社会のすべてにとって望ましい「健全かつ円滑な次世代労働市場の創造」を目指した取組みを推進しております。

■ お問い合わせ先

一般社団法人 人材サービス産業協議会 事務局 E-Mail: info@j-hr.or.jp